

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度	令和3年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	さがみ湖リフレッシュセンター
指定管理者名	株式会社 ギオン
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立さがみ湖リフレッシュセンター条例
施設の設置目的	高齢者の健康の保持及び増進並びに介護知識及び介護方法の普及を図り、高齢者に趣味活動の場を提供し、並びに高齢者の機能訓練を行う拠点施設
施設概要	所在地 緑区若柳1207番地4 施設設置平成13年4月1日 敷地面積 2,055.14㎡ 建物延床面積 1,102.9㎡ 建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造(地上2階) 1階 会議室 2階 ふれあいルーム1, 2 研修室 調理実習室 憩いの間 図書コーナー 交流コーナー 事務室
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 津久井高齢・障害者相談課

2 管理実績

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計 (人)	24,160	26,617	26,741	3,033	12,510		
利用料金合計 (円)	135,110	520,590	650,940	4,890	388,380		
(参考)利用料金中、次年度分	—	175,585	116,025	0	0		

※新たな指定期間の開始により、令和元年度利用料金合計には平成30年度中の預り金(175,585円)を含みます。

3 成果指標の達成度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
B	<p>成果指標となる延利用部屋数の目標値は、平常時を想定した値となっているが、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、施設の休所等の対応により、稼働できる利用部屋数が減っていることや、利用制限(利用人数、用途等)に伴う利用件数の減少など、当初、目標値を設定した際の前提条件と異なることから、昨年度と同様に実態にあった評価を行うこととする。(実績値を基に本来の開所日数を想定した推計実績値*による評価)</p> <p>*推計実績値 1,781 = 1,501(実績値) ÷ 300(R3開所日数) × 356(平常時の開所日数)</p> <p>新型コロナウイルスの感染が減少傾向にある中で、利用率の回復に取り組んでおり、引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を最優先にしながら利用促進に努めていただきたい。</p> <p>事業への参加者の満足度については、目標値の90%を超える方から満足を得られており、引き続き、参加者のニーズを把握しながら、魅力ある事業を企画・実施していただきたい。</p>

指標 1							
指標名 (単位)	施設の延利用部屋数(単位:回)						
指標式と指標の説明	リフレッシュセンターを拠点とした活動の推進状況を、客観的に評価するため、1年間の施設の延利用部屋数を指標として設定する。(調理実習室は含まない)						
項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (回)	—	—	1,760	2,130	2,142	2,154	2,166
実績値 (回)	1,841	2,167	2,229	1,506	*1,781		
達成度 (%)	—	—	126.6%	70.7%	83.2%	0.0%	0.0%

指標 2							
指標名 (単位)	事業への参加者の満足度						
指標式と指標の説明	指定管理者が実施した事業の内容を評価するため、事業への参加者の満足度を指標とする。						
項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	—	—	—	—	90%以上	90%以上	90%以上
実績値 (%)	—	—	—	—	92.8%		
達成度 (%)	—	—	—	—	103.1%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	新型コロナウイルスの感染状況が終息しない状況において、参加者数が定員に満たない事業があったが、既存の介護予防事業を継続して実施し、介護予防・健康増進への取組を進めた。 また、今年度から自主事業として実施した「地域ふれあい卓球開放事業」については、地域住民の交流の場となっていることから、今後とも継続して実施し、利用促進に繋げてほしい。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
なし			

企画提案事業

介護予防事業として、以下の事業を実施した。

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
スポーツウエルネス吹矢教室	4月～3月	専門性の高い種目のため、令和2年度同様に日本スポーツウエルネス吹矢協会へ講師の派遣依頼をし事業を実施した。 【実施日】 4/26(10人) 5/24(9人) (参加者) 6/28(11人) 7/26(6人) 9/27(コロナの影響で中止) 10/25(9人) 11/22(6人) 12/27(8人) 1/24(8人) 2/28(8人) 3/28(6人)	○
健康体力測定会	5、11、3月	脳年齢測定、血管年齢測定、骨の強さ測定を追加導入し、参加者の状態がより把握しやすい環境に整えた。 【実施日】 5/13(10人) (参加者) 8/12(コロナの影響で中止) 11/11(14人) 3/10(16人)	○
姿勢を鍛える簡単ストレッチ教室	5、8、10月	【実施日】 5/13(10人) (参加者) 8/12(コロナの影響で中止) 10/14(14人)	○
体幹トレーニング&タオル体操教室	6、12、1月	【実施日】 6/10(10人) 12/9(16人) (参加者) 1/13(12人)	○
肩こり腰痛体操教室	7、3月	【実施日】 7/8(10人) 3/10(17人) (参加者)	○
初めてのヨガ体験教室	11月	【実施日】 11/11(16人) (参加者)	◎

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
地域ふれあい卓球開放事業	10月～3月	幼児から高齢者まで、家族や地域住民のふれあいの場を提供するため、ふれあいルームにて卓球開放事業を実施した。(11月より、月1回 土曜日の午前中) 【実施日】 10/16(3人) 11/20(3人) (参加者) 12/18(7人) 1/15(0人) 2/19(0人) 3/19(2人)	○

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	アンケートによる利用者の満足度は、98.6%と高い評価を受けている。 特に、利用者から「職員の対応が親切、丁寧である」、「清潔で使いやすい」との意見が寄せられており、職員の接遇や快適な施設運営が行われているものと評価できる。今後とも高齢者や地域住民等、様々な方が利用しやすい雰囲気づくりに努めていただきたい。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施 時期:令和4年2月6日～3月31日 サンプル件数:251名
目標値の基準	総合的な満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	85.0%	85.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値（%）	98.1%	97.5%	91.3%	100.0%	98.6%		
達成度（%）	115.4%	114.7%	101.4%	111.1%	109.5%	0.0%	0.0%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
ご意見箱	通年	施設受付にアンケートBOXを設置し、利用者からの意見要望等を随時受け付けている。受け付けた内容については、職員会議で共有を図り、対応に努めている。
事業アンケート	事業毎	参加のきっかけ、満足度、要望等

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	新型コロナウイルス感染症の影響から、利用状況が厳しく利用料収入がコロナ禍以前まで回復しない中において、市からの協力金や補助金を活用し、全体収支としては黒字となった。また、団体の財務状況についても、決算関係資料を確認した結果、「経営状況について特段の問題はない」としている。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(円)
項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
収入（a）		15,420,717	15,571,903	16,217,584	
	指定管理料	14,730,277	14,732,196	14,867,607	
	利用料金収入	650,940		388,380	
	その他の収入	39,500	839,707	961,597	
支出（b）		15,387,464	15,352,370	16,196,607	
	人件費	8,858,532	8,826,802	9,119,582	
	本社管理経費	180,000	180,000	180,000	
	その他の支出	6,348,932	6,345,568	6,897,025	
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)		33,253	219,533	20,977	
自主事業収入（d）		67,500	0	1,100	
自主事業支出（e）		8,931	0	0	
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)		58,569	0	1,100	
全体収支 【(c)+(f)】		91,822	219,533	22,077	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止の影響から、昨年度に引き続き、休所や開所時間の短縮期間などがあり、利用料収入がコロナ禍以前の状況には戻っていない。 ・その他収入の主な内訳は、市からの協力金250千円、補助金630千円が交付されたもの。 ・自主事業について、新型コロナウイルス感染症の影響から、事業の実施回数が少なかったことなどから、事業収入は少額となった。 				
団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。				

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和4年7月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	抜き取りで調査をしたところ、概ね適正に管理されている。
危機管理	適正に実施	危機管理マニュアルや消防訓練等により、適切に実施されている。
人員配置・地元活用	適正に実施	利用状況により、人員配置を変更するなど、適切に実施されている。
現金管理	適正に実施	原則として、収納翌日には口座へ入金するなど、適切に実施されている。
会計・経理	適正に実施	抜き取りで調査をしたところ、概ね適正に管理されている。
情報セキュリティ	適正に実施	マニュアルの整備や研修の実施等、適切に実施されている。
情報公開・個人情報保護	適正に実施	情報公開マニュアルの整備等、適切に実施されている。
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	協定による規定等に基づき、適切に実施されている。
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	×
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

新型コロナウイルス感染症の影響により約2ヶ月の休所があったが、開館の際にはより安全・安心に利用してもらえることを第一に考え、定期的に職員会議や研修の実施を行い、職員全員で細心の配慮を持って対応することを常に心がけて取り組んだ。また、利用者数及び利用率向上のため、新規事業にも取り組んだ。その結果、事業アンケート及び利用者満足度調査では、目標値を大幅に上回る結果を得ることができた。

現在では施設認知度も徐々に上がってきており、団体登録数も増加している。今後は更に、施設の認知度や利用率を上げられるような取組などを検討し、より魅力的な施設となるよう準備を行う。

10 所管課意見

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、臨時休所や利用時間の短縮など、通常管理運営ができない厳しい状況の中、安全・安心を最優先にした管理運営に努めていただいた。

約2年余りに及びコロナ禍において、利用者とのやり取りや施設を管理運営する中で工夫した点など、現場における様々な実績やノウハウを今後の管理運営に活かしていただきたい。

来年度は、指定管理期間の最終年度に当たることから、当初提出している事業計画書の総仕上げとなるよう、各項目に積極的に取り組み、一層の施設の活性化に努めていただきたい。

特に、相模湖地区は高齢化率が市内で一番高く、当施設が果たす役割も大変に重要なことから、高齢者を対象とした企画提案事業は、指定管理者による独自のアイデアや創意工夫を凝らした事業展開を期待する。

自主事業は、対象者を高齢者に限らず、地域住民や世代間交流事業など、多くの方に足を運んでもらえるような魅力ある事業展開を期待する。

市としても、リフレッシュセンターの認知度が上がり、より活性化するよう、指定管理者と一体となって取り組んで行くものである。

11 選考委員会意見

新型コロナウイルス感染症により、利用状況や事業実施が通常どおりではない中で、高齢者の介護予防・健康維持を目的とした企画提案事業の継続に努め、自主事業として地域住民を対象に実施した「地域ふれあい卓球開放事業」は、これまで利用したことのない方がリフレッシュセンターを利用するきっかけとなっており、今後さらなる利用促進を図る取組として期待するものである。

これまでの管理運営の実績に基づき、利用者や地域等からのニーズを的確に把握し、高齢者だけでなく、地域住民をはじめ様々な方の利用促進を図るよう指定管理者独自のアイデアやノウハウを生かした管理運営及び各種事業の実施に努めていただきたい。

事業の実施にあたり、市広報紙や地域情報紙を活用し周知を行っているが、今後とも、様々な手段を用いて施設の利用案内や登録団体の紹介など、当施設の認知度向上に努めていただきたい。

施設の活性化、魅力度アップ、認知度の向上にあたっては、行政と一体となって取り組んでいただきたい。

総合評価（自動判定）

A

(75/100)

